

①雑誌 (ALIDEL LEVANTE)

平成25年11月に15,000部がイタリア国内の各空港に配布され、世界中からイタリアに訪れたお客様が手にとれるよう空港内に設置されました。

②新聞記事 (平成25年6月7日発行) 2紙

- ・ PRIMAPAGINA
- ・ EPolis Bari

※記事の内容は両者とも同じ

雑誌 **Giappone insolito** **Le provincie di Tottori e di e Shimane** (鳥取県と島根県は、意外な日本だった)

新聞 **Alla scoperta di Shimane il Giappone insospettabile.** **Zone rurali, coste selvagge, centri termali e città storiche**

(予想外な日本の島根を発見した 田園地帯、自然のままの海岸、中心街の温泉街の歴史)

米子から路線バスで25分位の所にとっても興味深い地域が突如現れる。県(鳥取県)の中で一番大切な場所であり、全てが花だった。公園の名前は花回廊、公園を発展させた構造になっている。50ヘクタールの公園に多種多様な450種類の樹木、バリエーションにとんだ70種類の草花が総合的にそして配色豊かに767,000もの植物が植えられている。1年中115名の従業員が働き、愛情を込めて世話をし、公園をとっても愛している。公園から壮大な大山が見渡せる。

ガラスでできた巨大な半円球のドームの中に入ると、熱帯気候を再現し、色とりどりの無数の蘭があり、蘭の香りが漂う。

園内全体の移動にはトラムが運行されており、花のある谷間を通り抜け、ヨーロッパ庭園、一面の花畑、水の中に浮かぶ花、ハーブガーデン、クリスタル(ガラス)でできた道が、その全てを完成させる。また、レストラン、喫茶店、アイスクリーム店、お土産や植物販売店、郷土製品を販売する店があり、さらに2,000台の車と40台のバスの駐車場もある。

この公園は最高責任者(ディレクター)河崎積園長が管理監督しており、全国植樹祭という格別な式典の舞台となった。今年5月26日の式典には、明仁天皇陛下、美智子皇后陛下もご臨席された。この式典は1950年から、毎年開催され、

戦争により破壊され荒廃した国を再生する助けになればと天皇陛下が強く望まれたものだった。そのために毎年違う都道府県が選ばれ、今年鳥取県が企画運営した。

2011年3月11日の津波によって被災した3県の代表者も出席し、種を贈呈した。(注:原文では「種を贈呈した」となっていますが、全国植樹祭当日の式典では、「被災した3県から鳥取県が種を預かり、育てている苗木の目録を贈呈」しました。)

式典のマスコットは武海博華氏の発想で生まれ、トッキーノという可愛らしい人形で、緑のシンボルとなり、自然への愛のメッセージを運びながら、日本の市町村を訪問していくことだろう。

この国、日本は、何千年も続く伝統的な生活を営み、魔力をもつ。自然と文化、日本人の微笑、調和がとれ、すばらしい組み合わせでできている。訪問者の心をとらえ、抵抗しがたい魅力を高めている。来る日もまた来る日も、帰る時までますます心を奪われていく。この土地の美しく新しい場所を見つけるために、また再び戻ってきたい。

※雑誌記事内・鳥取県の箇所を抜き出した訳文